

塗 装 仕 様 書



塗装略号	: EP-G
塗装仕様	: 建物用床塗料(アクリルエマルジョン樹脂塗料・ツヤ有り)(新設)
上塗塗料名	: 082ライン ユカロック500番級 グロス
規格	: ー
素材	: コンクリート、モルタル、アスファルトなど
部位	: 床

工 程	塗 料 と 施 工 内 容	シンナー名 希釈率%	標準塗付量 kg/m ² ・回	標準膜厚 μm・回	塗り重ね 可能時間 (23°C)
1	素地調整	エフロレッセンス、レイタンス、ゴミ、汚れなどをワイヤーブラシ等で完全に除去する。 よく乾燥させ含水率10%以下、pH9.5以下になってから塗装を行う。			
2	下塗り	通常不要 (水)	0.07~0.13	—	3h以上
3	上塗り	水 刷毛・ローラー 0~10 エアレス 0~10	0.15~0.2	—	5h以上
4	上塗り	水 刷毛・ローラー 0~10 エアレス 0~10	0.15~0.2	—	—

施工上の要点および注意事項

- ・ 塗料をよくかき混ぜ、均一にしてから使用してください。
- ・ 塗装作業中および乾燥中は換気を十分行い、その後も塗膜が完全に乾くまでの間は、ときどき換気を行ってください。
- ・ 気温が低いとき、湿度が高い場合には完全な塗膜ができにくく、十分な性能を発揮できませんので、塗装中および塗装後24時間は5°C以下にならない場所で使用してください。また湿度が85%以上の場合は塗装を避けてください。
- ・ 絶えず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- ・ 飛散防止のため必ず養生を行ってください。特に吹付け塗装の場合は注意してください。
- ・ ハケ・ローラーなどの塗装用具は水性用を使用してください。
- ・ 使用後のハケなどの用具や、手に付いた塗料はできるだけ早く水で洗い落してください。乾くと落ちにくくなります。
- ・ 乾燥した塗膜に付着した汚れはシンナーなどで拭かず、中性洗剤で洗浄してください。
- ・ 常時水の溜まる所は塗装を避けるか排水処理を完全に行ってから塗装してください。
- ・ セメント系素地に段差・巣穴などがある場合は、セメントフィラー、樹脂モルタルを用いて補修、不陸調整を行ってください。
- ・ ワックスを使用している床面は付着性を損ないますので、ワックス剥離剤などで除去し、水洗い、乾燥を十分に行った後、塗装してください。
- ・ 施工後ゴム製品など可塑剤を含むものを長時間置くと軟化し粘着性が生じるため置かないでください。
- ・ 改修塗装の場合、脆弱な旧塗膜、汚れ、チョーキングなどはディスクサンダー、皮スキ、ワイヤーブラシなどで除去し、高圧洗浄を行った後、24時間以上乾燥させてください。(気温20°C、湿度65%の場合)
- ・ 改修塗装の場合、下地の種類や処理方法によって付着不良やリフティング等の塗膜不良となる事があります。あらかじめ適切な処理を行い試し塗りを行った後、仕様を決めてください。
- ・ 旧塗膜が活膜の場合、表面荒らしが必要な場合があります。弊社担当営業にお問い合わせください。
- ・ アスファルト面に塗る場合、手早く塗ってください。何回も塗装面をこするとアスファルトが溶けてにじみ場合があります。
- ・ 表面に光沢のある高密度コンクリート、強化コンクリート、カラーコンクリート床の場合、塗料が浸透しにくく、付着性が十分に発揮できませんので弊社営業にお問い合わせください。
- ・ 吸い込みの著しい部材については、標準塗付量より多くなる場合があります。シーラーは「濡れ感が出るまで」を目安に塗装してください。素地の吸い込みが著しい場合は、その部分を塗り増ししてください。素地の吸い込みは、素地調整の状況、含水率などにより大幅に変わります。あらかじめ試し塗りをを行い、塗付量を確認してください。
- ・ 下塗り塗料塗装後、塗装仕様の塗り重ね可能時間よりも早く上塗り塗装を行うと、ちぢみ、ひび割れ、塗膜不良を起こすおそれがありますので、塗り重ね可能時間は守ってください。
- ・ 下塗り塗料乾燥後、素地との付着性をガムテープなどで確認し、はがれが認められる場合は再度下塗り塗装を実施してください。
- ・ シーラー類や各種上塗り塗料には防錆性がありませんので、金属製の部分が錆びている場合、錆などを除去、ケレンし、適性のあるサビ止め塗料を下塗り後、上塗り塗装を実施してください。
- ・ シーラーはカチオン性であり、一般的な水性塗料と混合するとゲル化しますので、絶対に避けてください。またハケ・ローラーなどの塗装用具の共用も避けてください。
- ・ 塗装を行う際の容器などはプラスチック容器を使用してください。金属類は錆が発生するおそれがあります。
- ・ 舗装して間もないアスファルト面の場合、ユカロック100番級、水性ロックラインでも表面ににじみが生じる場合がありますので、舗装後表面ににじみが生じなくなるまでの約3週間から1か月程度は塗装を避けてください。
- ・ 施工後、ゴムホース、タイヤなど可塑剤を含むものを長時間接すると粘着性が生じるため、置かないでください。
- ・ フォークリフト等重量運搬のある床面には適しません。
- ・ 上塗りに骨材(珪砂7号)を混合することで、滑り止め効果を持たせることができます。
- ・ 082ライン ユカロック500番級の歩行可能時間は5時間(23°C)です。
- ・ 乾燥が不足するとブロッキングや剥離の原因となります。特に塗装後3日以内の重量物の設置は避けてください。
- ・ 塗装間隔(乾燥時間)は塗装現場の温度、湿度、風通し、素地の状態などにより多少変わります。
- ・ 塗装間隔は守ってください。塗装間隔が長くなりますと付着性が低下して上塗り塗料と層間剥離を起こすことがありますので注意してください。
- ・ 各工程の塗装間隔、塗付量や希釈量を守らなかった場合塗膜不良となることがあります。また、各工程において当社指定以外の材料を使

塗 装 仕 様 書



塗 装 略 号	: EP-G
塗 装 仕 様	: 建物用床塗料(アクリルエマルジョン樹脂塗料・ツヤ有り)(新設)
上 塗 塗 料 名	: 082ライン ユカロック500番級 グロス
規 格	: ー
素 材	: コンクリート、モルタル、アスファルトなど
部 位	: 床

- 用した場合は十分な性能が得られないことがあります。
- ・ 塗装後24時間以内に降雨、結露があった場合、白化やシミが残る場合があります。また、低温時や高湿度、通風が悪い場合も白化やシミになる場合があります。
 - ・ 塗装方法により多少色相が異なることがありますので、入り隅のハケ・ローラー境目はできるだけ奥までローラー塗装してください。
 - ・ 仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって異なる場合があります。
 - ・ スプレーノズルの先端は、時々洗浄してください。作業能率の低下および塗りムラの原因になります。
 - ・ 補修部分が目立つことがありますので、補修塗りの場合は同一ロットの塗料を使用し、同一の塗装方法、希釈割合で行ってください。
 - ・ 塗色が濃色の場合、塗膜を強くこすると色落ちすることがありますので注意してください。
 - ・ この仕様書はすべての工程においてホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆を使用しています。F☆☆☆☆以外の材料（被塗物、素地を含む）を使用したり、各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合、F☆☆☆☆でなくなることがありますので注意してください。
 - ・ カタログに記載されていない素地及び塗装方法、工程で施工する場合、塗膜欠陥を起すことがありますので、使用する前に最寄りの営業所へお問い合わせください。
 - ・ 本仕様中の製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引き渡しの際は、施主に対して安全性に十分注意を払うようご指導ください。
 - ・ 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ペンキ塗りたてであるなどの立て看板等を設置し、化学物質過敏症並びにアレルギー体質の方が接することのないようにご配慮願います。
 - ・ 掲載されている塗料の詳細な使用方法については、それぞれのカタログをご参照ください。
 - ・ 取扱いの際は製品容器の注意書き、製品カタログおよび労働災害事故防止のため、安全データシート（SDS）をよく読み、注意事項を厳守してください。